

山行報告書

作成:2010年2月22日

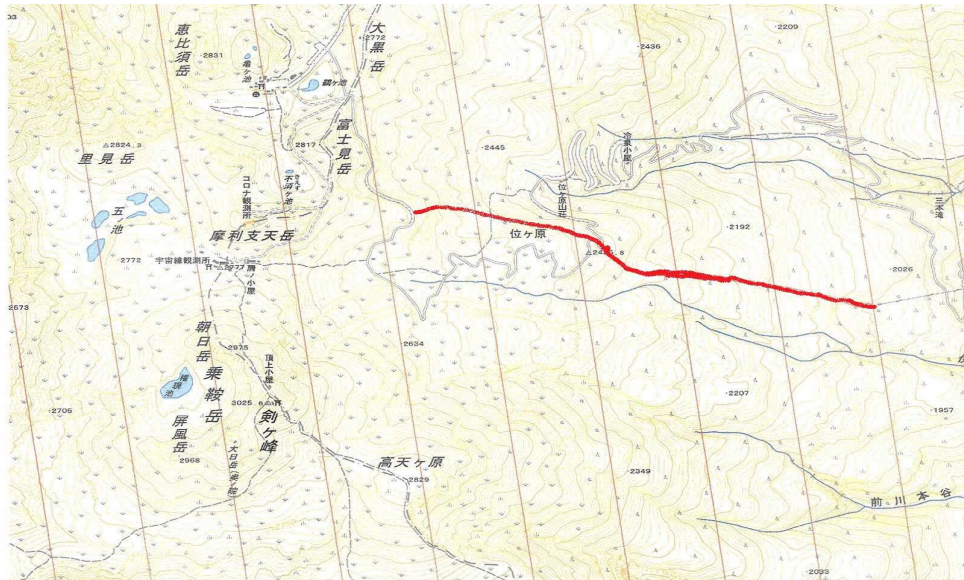
愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	乗鞍岳(3025m)	目的[方法]	新春山行[山スキー]
期間	2010年1月30日(土)	形態	日帰り
参加人数	3人		

1/30(土) 晴れ

岡崎市民病院(330) = 3:00 = 松本IC(630) = 1:00 = 乗鞍スキー場(730;830) = 0:55 = スキー場山頂駅(925) = 1:55 = 位ヶ原(1120) = 0:40 = 昼食(1200;1230) = 山スキー 1:40 = レストハウス(1410) = 0:20 = 駐車場、温泉(1430;1550) = 1:40 = 駒ヶ岳SA(1730;1800) = 1:50 = 岡崎市民病院(1950)

概念図:



スキー場リフト券1人400円
× 3 = 1200円

乗鞍温泉休暇村
日帰り入浴大人 500円

日誌:

3:30 岡崎市民病院を出発する。時間が早いので途中の道路も空いており、予定よりも早く着きそうなので途中の駒ヶ岳SAで少しゆっくりした。

乗鞍高原スキー場に到着したのがリフト始動一時間前で少し早すぎたようである。準備運動などしてリフトが動くのを待つ。このぐらいの余裕時間があつた方がかえって良いのかもしれない。

リフト三本乗り継ぎゲレンデトップへ上がる。ここを行くと聞き、最初からいきなりの急登でこの先どうなるのか心配になったが、途中のアップダウンは心配したほどでもなかった。Nさんから借りたフリーアドベンチャーは快適であったが、体重があるせいか雪が崩れてうまく登れない箇所もあった。

樹林帯を抜ける頃には風も強くなり寒くなってきた。位ヶ原がすぐ目の前である。少し上がったところで昼食をしたが、とてもではないがお湯を沸かしたり、おにぎりを食べたりする余裕はなく、サンドウィッチにして正解である。無理矢理食事を押し込んで、滑走である。樹林帯手前まではまずまずであったが、気づいたときには樹林帯の入り口を少し右に行きすぎてしまいトラバースした。コースへ戻った後はアップダウンを繰り返しゲレンデトップへ戻る。

感想:

登りは心配したほどではなかったが、下りはさすがに不整地だけあって予想していたよりもひどかった。

行きたいときに止まり、止まりたいときに暴走し、荷重をかければズボツとはまり、前にダイブする有様でした。

無茶苦茶で散々でしたが、とても面白かった。

技術はないので、山スキー入門編のような物があればどんどん参加したいです。

Yさん、Hさんありがとうございました。